

まちの話題

6/20 大きく元気に育ててね

JPGS (株)松浦火力運営事業所、九州電力(株)松浦発電所

発電所近隣の保育施設10か所に550人分の花苗が届けられました。

この取り組みは、6月の環境月間の一環として、子どもたちの心身の成長と健康、環境への意識を高めてもらおうと2社合同で行われています。

20日には、今福こども園の園児に花苗が届けられ、「今日はたくさんのお花ありがとうございます。大切に育てます」ときりん組の子どもたちが代表して感謝を伝えました。



6/28 志佐中学校3年生が市役所の仕事を体験

志佐中学校職場体験学習

市内の中学校では、働く大切さや勤労意識を養うことを目的に市内のさまざまな事業所に出向いて職場体験学習が行われています。

今回は、市役所を訪れた5人のうち、志佐中学校3年の本山萌華さんと山口美優さんが、市報づくりに取り組みました。生徒が作成した記事を紹介します。



松浦市役所 新人職員研修に密着！！

6月28日、市役所新人職員が市消防署で研修を受けました。

この研修は防災・救命についての知識を学ぶとともに職員間の交流を目的に毎年開催されています。今回は12人が参加し、研修では搬送方法や放水体験などが行われました。職員は真剣な表情で取り組みながらも、仲間と交流を深め笑顔を見せていました。

研修を受けた谷さんは「市職員として、今回学んだ知識や技術を住民の安全・安心な生活を守っていくために活かしていきたい」と話しました。



ワンデイ（1DAY）インターンシップ

市消防本部は、消防の仕事をもっと多くの人に知ってもらうために同イベントを開催しました。

当日は、市内外から中学生、高校生、専門学校生 21 名とその家族が参加。

消防士への質問や施設・車両見学、放水などを体験し、最後には、消防士による迫力ある想定訓練が行われ、食い入るように見入っていました。参加した松浦高校 3 年の長谷川准一さんは「普段できないことが体験できた。消防士になって自分の体を活かし、松浦に地域貢献したい」と話しました。



松浦市民休養施設柚木川内キャンプ場安全祈願祭

同キャンプ場の今シーズンの利用開始（7月1日～）にあわせて、地区住民などの関係者による安全祈願祭が執り行われ、10月15日までの安全を祈願しました。

祈願祭では、オーストラリア出身の市 ALT、ジョーダン先生による尺八の演奏もあり、厳かな音色に会場が包まれました。

6月16日には、利用者に気持ちよく使ってもらえるよう、地区関係者や松浦ロータリークラブ会員ら約 30 人が参加し、除草作業やバンガロー内の清掃活動などを行いました。



福島養源小学校水産教室

新松浦漁業協同組合（田淵輝明組合長）福島くるまえび養殖場と県は、同学校の 4 年生 15 人を対象に、水産教室を開きました。

この取り組みは、地元の水産業に興味を持ち、理解を深めてもらおうと毎年実施しています。

児童は水槽内のクルマエビや施設を見学しながら、生態や育て方、出荷方法などについて説明を受けたあと、養殖池へ稚エビ 300 匹の放流を行いました。このクルマエビは、9月から11月に出荷される予定です。

